



るもい風土資産カード

北海道海鳥センター

海鳥の神秘的な生態を学ぶ
日本で唯一の海鳥専門施設

道の駅「ほっと・はぼろ」に隣接して建つ「北海道海鳥センター」は日本で唯一の海鳥専門施設として、環境省と羽幌町の運営のもと、平成9年(1997年)にオープンしました。天売島を中心とした海鳥類の調査・研究、絶滅危惧種のウミガラス(オロロン鳥)などの護増殖事業を進めるとともに、海鳥を中心とした海洋環境の保全をテーマに普及・啓発(環境教育)事業を行っています。

羽幌町の沖合にある天売島は、日本で唯一のウミガラスとウミスズメの繁殖地です。またウトウは約30万つがいが生息する世界最大の繁殖地でもあり、世界的に見ても人間と海鳥が共存する貴重な海鳥の楽園として、注目を集めています。センター内の「海鳥繁殖地のジオラマ」は、天売島西海岸にある海鳥繁殖地の崖面をリアルに再現したもので、巣やひなを育てている様子を、海鳥の模型と音響・照明演出により観察できるようになっています。「鳥の卵の模型」は天売島で繁殖する8種類の海鳥の卵を、ほぼ実物大・実物の重さで展示しています。また、「海鳥生態の紹介コーナー」はパネルやぬいぐるみ、羽などで海鳥の生態を紹介し、五感を使って、海鳥の神秘的な生態を感じることができます。このほか、「ウミガラス・ケイマフリ・ウトウの生息状況」、「オオウミガラスの悲劇」と題した模型などの展示があり、野鳥や天売島の生き物について調べられる「パソコンコーナー」、自然写真などの「掲示コーナー」、「読書コーナー」などの学習施設も整っています。館内の展示物についてはスタッフが説明してくれますので、気軽に声をかけましょう。

見どころ

「海鳥繁殖地のジオラマ」の海鳥の模型は札幌在住の北尾久美子さんの作品で、完成度も高く、道内外からバードカーパーが見学に訪れるほど。また、ウミガラス・ケイマフリ・ウトウの生息状況の海鳥の模型は、日本における鳥類模型製作の第一人者、内山春雄さんの作品です。

ポイント

「さえずりや(二号店)」ののれんが掛かるコーナーでは羽幌町内に生息する旬の鳥たちの生の声を聞くことができます。「バードボイスペン」という機械を使った施設で、本店は東京港野鳥公園(東京都大田区)、三号店は春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(根室市)にあります。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



常設展のさえずりや(二号店)では、『バードボイスペン』という機械を使ってメニューをタッチするだけで、羽幌町で聞くことのできる旬の鳥の声を聴くことができます。

このさえずりや、本店は東京港野鳥公園ネイチャーセンターに、三号店は春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターにあります。



天売島は、世界的に見ても人間と海鳥が共存する貴重な海鳥の楽園とされています。

神秘的な野鳥の生態に触れることで、自然・野生動物への理解と興味が深まることでしょう。



野鳥や天売島の生き物について調べることができる「パソコンコーナー」、自然写真などの「掲示コーナー」、「読書コーナー」など学習施設が揃っているので、様々なツールで野鳥の生態を学ぶことができます。

■ 基本情報 (R1.5)

住 所：苫前郡羽幌町北6条1丁目11番地

T E L：0164-69-2080

開館時間：(4月～10月) 9:00～17:00

(11月～3月) 9:00～16:00

休 館 日：月曜、祝日の翌日、および年末年始

入 館 料：無料